

りくつなま

安原工業団地協同組合 会報

2008.3
第4号

発行 ■ 安原工業団地協同組合 〒920-0377 金沢市打木町東1400番地(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076)240-1411 FAX (076)240-1903



新製品開発に期待して

金沢市異業種研修会館

館長 松村 文夫

安原工業団地の皆さんこんにちは。私は平成17年8月に館長に就任しましたので、そろそろ3年になります。このところ、「偽」という文字で代表されるように、暗いニュースが多くありました。金沢市から新製品開発にまつわる明るいニュースが続出して欲しいところです。

さて、石川県、そして金沢市は工業の振興にいろいろな施策を行なっています。その中で私が関係している一部のこと、それは発明から新製品開発、販路拡大への一つのルートですが、それをここで紹介させていただきます。

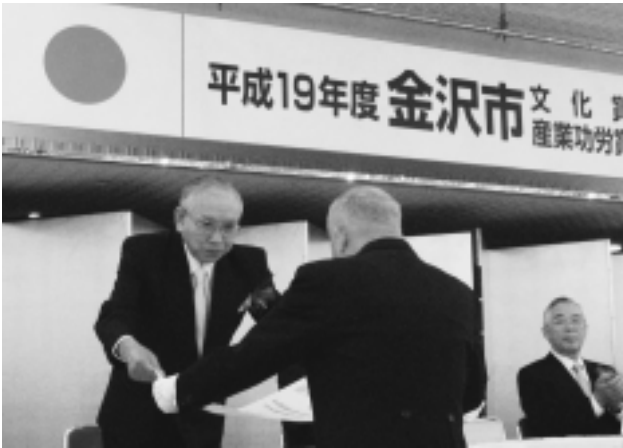
①石川県発明くふう展というのが毎年10月に開催されています。これには学校の部と一般の部があって、それぞれ多くの出品があります。「発明」というと大げさに聞こえるかも知れませんが、「良いアイデアを商品に取り入れる」とでも考えていただければ良いでしょう。学校の部では、小学生や中学生が子供らしく夢のある奇抜なアイデアを出したりしています。何かのヒントが得られるかも知れません。

②金沢市では新製品・デザイン開発促進事業があって、審査の結果、良いものには助成金が出る制度があります。試作し、テストの結果うまく行きそうだというものを製品化、事業化するのに役立つと思います。

③毎年5月に石川県産業展示館において、機械工業見本市金沢(MEX金沢)、石川県中小企業技術交流展、e-messe kanazawaが同時に開催され、多くの新製品が展示されます。この中で申請のあったものが審査され、「金沢ブランド優秀新製品」が認定されます。このブランドを取得することによって販路が開拓されるかも知れません。

以上の3つのことを絡み合わせて、事業の拡大、新事業の展開を図っていただくことを期待しております。当会館もできるだけのお手伝いをさせていただきたいと思っておりますのでどうかよろしく願い申し上げます。

安嶋勇氏 市産業功労賞受賞



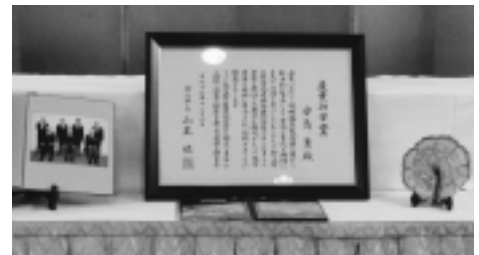
が贈られました。

安嶋氏の受賞理由として、本業のボイラ、クレーン業界の功績もさることながら、当組合の設立に関わり初代理事長として県下有数の工業団地の地位を確立するとともに、金沢市工業団地連絡協議会長として市の産業振興に尽力された功績が高く評価されたものです。おめでとうございます。

当組合顧問で初代理事長でもある安嶋勇氏(株式会社ヤスジマ会長)は、このたび金沢市の産業振興に格別の功績のあった人に贈られる金沢市産業功労賞を受賞されました。安原工業団地関係者では平成13年の異業種研修会館初代館長安井武司先生に次いで二人目ということで、ご本人はもとより当組合員としても喜びもひとしおでした。

贈呈式は平成19年11月3日(文化の日)午前10時より金沢市文化ホール大集会室で行われ、お祝いのため組合役職員や会社関係者多数が参列しました。

式は金沢市文化賞贈呈式と合同で行われ、各々3名の受賞者に山出市長から賞状と副賞



東大阪市 モノづくり見学の旅

平成19年度金沢市工業団地連絡協議会、安原工業団地協同組合、合同研修旅行が10月26日(金)から27日(土)にかけて東大阪市役所モノづくり支援室、クリエイション・コア東大阪視察、松尾捺染(株)そしてサントリー山崎蒸留所見学等で行なわれました。

当組合からは米澤理事長以下5名が参加しました。

東大阪市は、大阪市の東に位置し、奈良へ通ずる交通の要衝として早くから中小企業が発達してきた所で工場数が約6500社(全国4位)で工場密度はNo.1で、“なんでも作れる東大阪”としてあらゆる種類の工場が集まっていて、しかも他地域に多い“下請型”ではなく、“独立・ネットワーク型”の企業が多いとの事でした。

そんな中、市役所訪問に続く「クリエイション・コア東大阪」という第三セクターが運営する建物を見学しましたが、全199社200ブースがあり各々の企業の特徴や製品を展示していました。

その後市内の「松尾捺染」というハンカチを染めている企業を訪問し、社長より説明を受けました。長年の企業努力によりバーバリー等々のハンカチ製造の一流(ブランド)企業



としかつき合わない(2~3流は断る)姿勢で利益を確保し、新商品開発についても他企業と共同研究されているようでした。

次の日のサントリー山崎工場は、サントリーの中でも最も古い工場の一つで超一流企業のウイスキー製造工程を見学しながら、最後に各種ウイスキーやソフトドリンクの試飲にて楽しいひとときを過ごしたが、整理・整顿された工場内と明るく親切な社員の対応にも満足し、充実した2日間でした。

コマツ金沢工場に感嘆!

市産学連携ネットワーク交流会が平成19年11月5日(月)に開催され、市が新たに建設した、4箇所の工業団地とコマツ金沢工場を見学しました。当組合からは10名が参加しました。



始めに、いなほ工業団地を視察し、芝寿しが大きな区画で新工場を建設するとの説明がありました。次いで金沢テクノパークを視察し、ここでは渋谷工業(株)が新たな用地を取得し工場を増設すると説明がありました。更にかたつ工業団地、湊簡易野球場跡地の東部工業用地、コマツが全区画を取得し建機工場を建設する栗崎地区工業用地を見て、この視察のメインであるコマツ金沢工場を見学しました。現在は一棟だけですが、半端ではない大きさで拡張予定地も十分あり、重機製造工程も分りやすく説明をうけました。目の前には現在掘削中の大水深岸壁があり、市の産業振興に大いに貢献することが実感される意義深い視察研修でした。

平成20年合同新年懇親会

安原工業団地協同組合及び団地町会の合同新年懇親会が平成20年1月8日(火)金沢都ホテルにて73名の出席で開催されました。

最近では女性部、婦人会等女性の参加も多く今年も20名以上の女性が加わりまた、新年にふさわしく余興として緑謡会の方々で加賀宝生流謡曲「鶴亀」と「高砂」の謡と仕舞でスタートしました。

米澤卓也理事長の挨拶に始まり来賓として出席された金沢市長代理君塚明宏産業局長、下澤佳充県議会議員、井沢義武市議会議員に新春のご祝辞をいただいた後、組合顧問であります安嶋勇氏が平成19年度金沢市産業功労賞を受賞されたことを祝い花束と記念品を贈呈しました。

中締めは次期町会長の12班(堀田鉄工所代表堀田鉄雄氏の一本じめでお開きになりました。



「北信越にプロ野球をつくろう」 を合言葉に

11月27日(火)金沢市異業種研修会館において、平成19年度文化講演会を開催しました。

米澤卓也理事長の挨拶の後、石川ミリオンスターズ代表取締役端保聡氏と監督金森栄治氏より「石川県民球団ミリオンスターズ」と題し語られました。

最初に端保聡氏は、「北信越にプロ野球をつくろう」を合言葉に石川、富山、新潟、長野の4県の有志によって設立され、石川県のチーム代表となった経緯や現在の心境また自らの少年時代からの野球に燃える意気込みを話されました。ファンの皆様には夢、感動、情熱を、子供には野球の楽しさを伝えることを使命と考え、会場の皆様には、県民球団の趣旨をご理解頂きたいと結ばれました。

次に金森栄治監督から、少年時代に金沢で過ごし、その後家族と離れて大阪で暮らすことになり、身体の小さい自分が、高校、大学、ノンプロ、プロ野球選手として野球が出来たことや、石川ミリオンスターズの初代監督を引受け、監督として目指す野球は、基礎を大切に「本物」を目指し、生まれ育った地元で恩返しするためにも、十分力をつけ、打撃、守備、投球すべてにおいてレベルの高いプレーを披露したいと締めくくりました。

講演が終わり、野球ボールに金森監督のサインを求める方もおり、監督の人気の程を示されました。60名の参加がありました。



「ソフトボール大会 19チーム参加」



安原工業団地町会主催の第28回ソフトボール大会(安原工業団地協同組合協賛)が平成19年9月9日(日)、安原小学校グラウンドで開催されました。

当日は晴天の中、中村俊彦町会長の挨拶で始まりました。今年は19チームの選手、応援を合わせ約700名が参加し、白熱した試合が続き歓声や笑いに大いに盛り上がりました。

結果、優勝は(株)邦和建設Aチーム、準優勝はハイテクス工業(株)、3位は(株)金石製作所・(株)キタムラ産業塗装でした。

閉会式では中村町会長が賞品を授与し講評を述べて全日程を終了しました。

神奈川県より当団地視察に来訪

平成19年11月1日(木)、神奈川県中小企業団地組合連絡協議会より小高良治会長ほか10名が来訪され当組合役職員と懇談の場を持ちまし



た。これは県中小企業団体中央会が石川県の代表的異業種工業団地として当団地を紹介したもので、中央会からも安田慎一専務理事、近藤保夫事務局長が出席されました。当組合からは米澤理事長、副理事長4名、事務局長と職員が対応に当り、団地組合に関わる相互の共通課題について活発な意見交換が行われ当組合としても実に有意義な会合となりました。

青年部

19年度下半期の活動報告

9月9日(日)
「ソフトボール大会」

準備・運営に参加させて頂きました。

10月26日(金)
「加賀野菜 源助大根収穫祭」

源助大根収穫祭は青年部の活動の中でも特に力を入れて取り組んでいる事業の一つです。

「源助大根収穫祭」は本年度で3回目となりました。

昨年8月ごろより準備を進め10月26日(金)に本年度は、安原保育園の園児にもお手伝いをしてもらいました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、元気いっぱいの園児達と約2000本の「源助大根」を収穫することが出来ました。

園児達にも収穫を通じて、作物を栽培する大変さや収穫の喜びを知ってもらえれば幸いです。

収穫の後日、園児達からとても可愛い感謝状を頂きました。



11月9日(金)・10日(土)
「視察旅行 九州 名村造船所」

今回の視察旅行は佐賀県伊万里市の名村造船所に参加者13名で行って来ました。

ここ数年、造船業界は15年先まで受注残があるというくらい好景気の様です。また、造船の内容は鉄鋼、鋳金、木工、塗装と様々な業種の工程があり、私達の仕事の参考になればと思い視察先選ばせて頂きました。



名村造船は世界最大級の商業船(タンカー等)を製造しており、規模も従業員が1000人以上という国内屈指の大型臨海工場です。

まず、80周年記念館での概要説明を受け、バスにて構内を工程順に見学。見るものは全て巨大そのものでした。見学時にも観光バスでそのまま工場内に入る事が出来る程で、建造ドックには高さ88m、幅148m、最大800t吊の巨大クレーン、また初めて間近で見るタンカーの大きさにも感心するばかりでした。

また名村造船所ではその造船技術を生かし、橋梁、巨大プラントなどの設計、施工も行っているとの事でした。

造船業界の歴史、日本の造船技術の高さを改めて勉強させて頂きました。

2月3日(土)
「新年会」

参加部員17名で19時より、片町の「京澤」にて19年度新年会を開催致しました。

女性部

19年度下半期の活動報告

今年度の研修会は加賀の国独特の染め技の見学と言う事で友禅会館を訪ねました。加賀友禅染色団地専務理事藤村光芳氏より友禅の歴史等の説明をいただきビデオで勉強しました。その後、ハンカチ染めの体験も出来ました。そして白鳥路ホテルにて反省会を兼ね昼食をし、賑やかな1日でした。(出席者18名)



11月13日(火)・14日(水)と1泊2日で平成19年度レディス中央会全国フォーラムin宮城へ3名出席しました。女性部や

商店街の活気、若さに圧倒され元気を貰って帰りました。

12月中旬には団地内の幹線道路のプランターにパンジーを植えかえました。

3月16日(日)第2回研修活動を湯涌夢二館を見学し、その後かなや旅館にて昼食後、おかみさんの安藤喜代子さんから湯涌の歴史を話していただくことになっています。



あ と が き

なんとか第4号の発刊にこぎつきました。何回やっても慣れない私達ですが、せめて「りくつな」を通して各種組合活動の一端をみなさんにご紹介し、ご理解とご協力をいただければ幸いです。

偽装問題など、官・民を問わず問題山積の世の中ですが、しっかりと足元を見つめてやっていきたいものです。

発行責任者 米澤 卓也
編集委員 相川外志子、岩上 伸人、大平 邦久
奥野 龍雄、田中 泰、塚本 一樹、
入口 吉男、山口美枝子